



リユートとアンサンブルの楽しみのための
古楽セミナー

ルネサンス・バロックの演奏に関するレッスン

講師:野入 志津子



- 【日時】** 2022年 5月14日(土) 10:00~17:30 ※時間は予定
- 【会場】** 龍谷大学深草キャンパス (京阪「龍谷大前深草」駅より徒歩4分) +オンライン
- 【内容】** 初心者からハイレベルまで、リユート属一般、歌や器楽のソロ・アンサンブル、通奏低音のためのレッスン。最大5組。チェンバロの用意はありませんが、電子鍵盤(A=415/440Hz)を用意し、チェンバロに設定して使用することは可能です(追加料金不要)。聴講者も交えて参加者全員対象のレクチャーやアンサンブルも実施します。
- 【受講料】** ソロ 10,000円 / 1h アンサンブル 15,000円 / 1h
聴講 2,000円 / 1day ※オンラインの聴講料はセミナー内容により減額の可能性あり
聴講はオンライン(ライブ配信/オンデマンド配信)も可能
- 【お申し込み】** 受講をご希望の方は、氏名、連絡先(メールアドレスなど)、楽器名(アンサンブルの場合は編成)、ピッチ(A=415/440Hz)、受講予定曲を下記の連絡先までお知らせください。編成、受講曲、受講時間についての相談もお気軽にご連絡ください。受講不可能な時間帯がある場合も事前にお知らせください。録画不可やオンライン不可などのご要望も承ります。聴講をご希望の方も、資料等の準備の都合上、事前にご連絡をお願いいたします。受講料・聴講料は当日ご持参ください(オンラインの場合はお振り込みになります)。

【連絡先・お問合せ】

kobori@rins.ryukoku.ac.jp (担当:小堀)



受講申込



聴講申込

【会場アクセス】

龍谷大学深草キャンパス ^{わげんかん}和顔館 地下2階 B204 室

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67 (京阪「龍谷大前深草」駅より徒歩4分)

https://www.ryukoku.ac.jp/about/campus_traffic/fukakusa.html

※詳細は裏面を参照ください。



アクセス

<会場へのアクセス（詳細）>



京阪本線「龍谷大前深草」駅下車、西へ徒歩約4分
JR 奈良線「稲荷」駅下車、南西へ徒歩約8分
京都市営地下鉄烏丸線「くいな橋」駅下車、東へ徒歩約14分

京都駅からは地下鉄ではなく JR 奈良線に乗り換えて稲荷駅で下車した方がよいです。もし荷物が多くて歩くのが大変という場合は、奈良線の東福寺駅で京阪電車に乗り換えて龍谷大前深草駅で下車してください（乗車5分・運賃160円）。大阪方面から来られる場合も京阪電車をご利用ください（近鉄京都線は丹波橋で京阪電車に乗り換えてください）。

<会場について>



和顔館（わげんかん）という建物の地下2階が会場です。稲荷駅または龍谷大前深草駅から来られる場合は東門よりお入りください。入ってすぐに見えるガラス張りの建物が和顔館です。建物の中の階段もしくは外の階段で地下2階まで降りてください。

くいな橋から来られる場合は正門から入っていただくのがよいと思います。ガラス張りの建物を目指してください。図書館もガラス張りですが、その向こうの建物が和顔館です。入口が分かりにくいかもしれませんが、中に入り階段で地下2階までお入りください。

なお、昼食は会場にて食べることができます。また、学内に生協売店、コンビニ、スターバックスがあります（生協売店（コンビニ）：11:30～13:30、スターバックス：10:00～17:00）。

‡野入志津子 プロフィール‡ アーチリュート（公式サイト <https://shizukonoiri.com/?lang=ja>）

京都生まれ。同志社女子大学学芸学部音楽学科（音楽学専攻）卒業。在学中よりリュートを岡本一郎氏に師事。京都音楽協会賞受賞。リュートとルネサンス、バロック音楽を学び深めるためにバーゼルのスコラ・カントルムでオイゲン・ドンボアとホプキンソン・スミスに師事、1991年ソリストディプロマ。アムステルダムを拠点に活動している。

古楽界の巨匠ルネ・ヤーコブスの専属リュート奏者として20年以上にわたりオペラやオラトリオの上演を続けている。主な活動は：インスブルック古楽祭（オーストリア）、Aix-en-Provence国際音楽祭（フランス）、シャンゼリゼ劇場（パリ）、モネ劇場（ブリュッセル）、ベルリン国立歌劇場、ウィーン劇場、リンカーン・センター（ニューヨーク）、バービカン・センター（ロンドン）、Cité de la musique（パリ）、芸術の宮殿（ブリュッセル）、ザルツブルグ音楽祭、フェスティバルLa Folle Journée（東京 ミッシェル・コルボー指揮）、Teatro Avenida（ブエノスアイレス J.M. Quintana指揮）、東京オペラシティ（鈴木雅明指揮）。アンサンブル“Les Plaisirs du Parnasse”のメンバーであり、世界各国でソリスト及び通奏低音奏者として、アンナー・ビルスマ、Concerto Vocale、イ・ムジチ合奏団、フライブルク・バロック・オーケストラ、Ensemble415、ベルリン古楽アカデミー、コンチェルト・ケルン、Collegium1704、バッハ・コレギウム・ジャパンなど先導的なアーティストやアンサンブルと活動している。コンサート活動は：コンサートヘボー（アムステルダム）、ベルリンフィルハーモニー、コンチェルトハウス（ベルリン）、La Chapelle Royale（ヴェルサイユ）、ゲヴァントハウス（ライプチヒ）、シドニーオペラ（オーストラリア）、ルービンアカデミー（イスラエル）、Palau de la Musica（バルセロナ）、王宮宮殿（マドリッド）、ボリショイ劇場（モスクワ）、Beaune、Ambronay（フランス）、ウルビーノ（イタリア）、ブリュージュ国際音楽祭（ベルギー）、プラハの春などの音楽祭。1997～1999年、古楽情報誌アントレーに「演奏家のためのバロック音楽 17・18世紀イタリアの音楽～通奏低音法を中心に」を23回にわたり連載。Aix-en-Provence、チェコ、イスラエルでマスターコースを行い、2015年より東京芸術大学古楽科で講習会を行う。

ディスコグラフィ：フィリップス（イ・ムジチ合奏団と）、ハルモニア・ムンディ・フランス（ルネ・ヤーコブス指揮）、WDR、BIS、Symphonia、Zig-Zagなどのレーベルに録音。ソロのCDはレグスから「カステリオーノ：様々な作曲家によるリュート曲集」と「ザンボーニ：リュート・ソナタ集」をリリース。レコード芸術誌特選盤。2017年、Acoustic-reviveから「Aure Nuove 薫る風～新しい様式によるリュートのためのトッカータと舞曲」をリリース。